

回 覧



平塚市体育協会シンボルマーク
このシンボルマークは、「明るく、強く、逞しく」の三つのスポーツ精神を象徴しています。

平塚市体協ニュース

第63号 平成30年3月31日

平塚市体育協会機関誌

平成29年度

平塚市スポーツ優秀選手及び団体 12氏1団体を表彰

- 〔個人〕(敬称略・順不同)
- ◇朝比奈 沙羅 世界柔道選手権2017 ブタベスト大会 柔道女子 78kg超級 準優勝
- ◇安藤 夢 2017日本学生陸上競技個人選手権大会 陸上競技(円盤投げ) 優勝
- ◇氏家 一郎 第27回全日本実業団ベンチプレス選手権大会 ベンチプレスMIII男子 120kg超級 優勝
- ◇ウルフ アロン 世界柔道選手権2017 ブタベスト大会 柔道男子 100kg級 優勝
- ◇大賀 遥 JOCジュニアオリンピックカップ 2017年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 男子ジュニアの部 グレコローマンスタイル 74kg級 優勝
- ◇太田 彰雅 第29回ユニバーシアード競技大会 柔道男子 無差別級 優勝
- ◇影浦 心 第29回ユニバーシアード競技大会 柔道男子 100kg超級 優勝
- ◇立川 新 第29回ユニバーシアード競技大会 柔道男子 73kg級 優勝
- ◇松岡 俊男 第28回全日本ベンチプレス選手権大会 ベンチプレスMII男子 83kg級 優勝
- ◇諸星 孝夫 2017年世界クラシックベンチプレス選手権大会 ベンチプレスMIV男子 74kg級 準優勝
- ◇吉田 惇 天皇賜盃第86回日本学生陸上競技対校選手権大会 陸上競技(円盤投げ) 優勝
- 〔団体〕(敬称略・順不同)
- ◇東海大学 柔道部 平成29年度 全日本学生柔道優勝大会 団体優勝
- (監督) 上水 研一朗 (選手) ウルフアロン、影浦心、前田宗哉、西本幸弥、尾方寿彦、香川大吾、奥野拓未、村田大祐、安達健太、太田彰雅、伊藤好信、立川新
- ・平成29年度 全日本学生柔道団体優勝大会 団体優勝 (監督) 上水 研一朗 (選手) ウルフアロン、影浦心、



※写真は前列左から、安藤夢氏、諸星孝夫氏、鈴木喜明平塚市まちづくり財団理事長、落合克宏平塚市長、田中義平平塚市体育協会会長、氏家一郎氏、安達健太氏
後列左から、小野翼氏(東海大学柔道部)、浅利昌哉氏(東海大学柔道部)、尾方寿彦氏(東海大学柔道部)、大賀遥氏

尾方寿彦、前田宗哉、浅利昌哉、安達健太、永山竜樹、込山龍哉、

藤岡将吾、太田彰雅、伊藤好信、立川新、内村光暉、山本達彦

平成29年度 文部科学大臣表彰



平成二十九年十月六日、平成二十九年生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰が東京・霞が関の中央合同庁舎で行われました。平塚市体育協会常任理事、平塚市バドミントン協会理事長の金田正勝氏がこの荣誉に浴しました。

〔平塚市体育協会常任理事・平塚市バドミントン協会理事長〕
地域又は職場におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ関係者を「平成二十九年生涯スポーツ功労者」として文部科学大臣が表彰。平塚市のバドミントン競技の普及・発展及びスポーツ振興に尽力。平塚市スポーツ少年団副本部長等

平成29年度 神奈川県体育功労者表彰



平成三十年一月十三日、平成二十九年生涯スポーツ功労者表彰が県立神奈川総合高等学校多目的ホールで行われました。平塚市体育協会副会長兼理事長、平塚市剣道連盟顧問の阿部博氏がこの荣誉に浴しました。

〔平塚市体育協会副会長兼理事長・平塚市剣道連盟顧問〕
神奈川県内の体育・スポーツの振興に功績のあった個人及び団体並びにスポーツの競技大会で優秀な成績を収め、県のスポーツ水準の向上に功績のあった個人、団体が表彰される「神奈川県体育功労者表彰」を受賞。平塚市の剣道競技の普及・発展及びスポーツ振興に尽力。神奈川県体育協会評議員等

平成29年度

平塚市体育協会 体育功労者7氏を表彰

平成三十年二月十一日、平塚市体育協会納会において、平成二十九年生涯スポーツ功労者七氏の表彰を行いました。ここに主な功績をご紹介します(五十音順)。

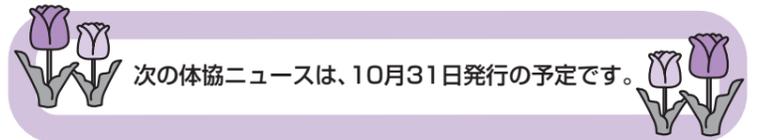
◇荒井 隆幸氏 (平塚市バドミントン協会)
平塚市においてバドミントン競技の普及・強化・発展に尽力し、協会発展の歴史と共に歩んで来ているといっても過言ではなく、協会としては必要不可欠な人材と言える。

◇石原 康平氏 (平塚柔道協会)
昭和四十八年、五歳の時に平塚柔道協会に入会。昭和六十年、第三十四回市民大会では、個人戦有段者の部で優勝。続く神奈川県民大会でも平塚市を第三位にした立役者であり、平塚市を代表する選手として活躍した。

平成九年から平塚柔道協会の理事となり、少年部の指導担当理事として多年にわたり後輩の育成に情熱を傾け、協会の発展に努力した。特に少年部の大会の時の引率者として、積極的に対応してくれた功績は多大である。

毎年開催している平塚少年柔道大会も運営役員として少年部が期待されている。

(2面へ続く)



次の体協ニュースは、10月31日発行の予定です。

広報委員
中戸川 康夫/重田 明/金子 理人/南雲 弘/星加 悦高/宮田 実

平塚市体育協会機関誌
「平塚市体協ニュース」
第63号

発行日
平成30年3月31日

発行人
会長 田中 國義

発行所
平塚市体育協会事務局
平塚市浅間町9-1
電話 0463(31)3060
FAX 0463(34)5522



本協会は、昭和二十六年に「平塚市排球協会」として設立されました。翌年の昭和二十七年四月に「平塚バレーボール協会」と改称し、正式に県協会の公認する地域協会となり、同時に平塚市体育協会への加盟も認められました。本協会は、三市二町を地域とし、小、中、高、大、ママさん、社会

平塚バレーボール協会

加盟団体だより

(2面より続く)
平成十五年から十四年間の長きにわたり、平塚市陸上競技協会監事として会計監査の職責を果たした。

以上のとおり、長年にわたり平塚市陸上競技協会の役員として陸上競技の普及・発展に寄与した功績は誠に顕著である。

平塚市サッカー協会は現在、シニア、一種社会人、二

平塚市サッカー協会

人、ソフトの合計で百四十五チームが登録しています。登録チーム数は年々減少しており、特に社会人のチーム登録が激減(全国的にも同様)しており、生涯スポーツという観点からも寂しいところではあります。そのような中、主催、後援等の大会は年間三十五回程になります。将来の指導者育成のためにも、競技人口の増加を意識し、若年層に向け、バレーボール教室や審判講習会を実施し、底辺の拡大を図る必要があるものと思っております。今年の六月に湘南ひらつかビーチパークにてジャパンビーチバレー平塚大会の開催が予定されておりますので、是非見に来てください。



種高校生、三種中学生、四種小学生、五種女子、フットサル、審判委員会、技術委員会を加えた百チーム、登録選手三千二百十一名で構成されています。

サッカーに於ける環境整備として二〇〇八年度大神スポーツ広場のサッカーゴールを鉄製からアルミ製へ切り替える寄贈事業を開始し、現在全中学校を終了し、二〇一四年度からは各小学校へのゴール寄贈を推進しております。
(※実績詳細 大神六組、中学校十三組、馬入二組、小学校十組 合計三十組)

平塚市ゴルフ協会

ジュニアゴルフ教室が毎週土曜日夕方開催されている。場所はグリーンパール。

ゴルフ競技に参加するジュニアの活躍が著しい。ひと頃は社会人の活躍も報じられたが、それもめっきり減った。女子プロの世界を見れば次から次へと有望なゴルファーが二十歳前後で参入している。日本



また、湘南ベルマーレ主催のコパ・ベルマーレU11や今年開催されるワンネーションカップU15(中学生)の海外勢を招待した国際試合が開催され協力している所です。六回目の今大会は初のアジア開催となり湘南地域で開催されます。五月二十一〜二十六日の日程で、日本、ドイツ、トルコ、ロシア、南アフリカ、アメリカなどの出場が予定されており、会場は「馬入ふれあい公園」の人工芝天然芝サッカー場、平塚トレセンを中心とした湘南選抜の日本代表チームを編成し海外勢に挑みます。二十六日にShonan BMW スタジアム平塚に於いて決勝戦を執り行いますので多くの皆様のご来場をお待ちしております。
※ホームページ <http://www.hinatsuka-fa.com/>



※写真は左から、田中恭子氏(平塚市弓道協会)、荒井隆幸氏(平塚市バドミントン協会)、末永瑠璃子氏(平塚市テニス協会)、須賀茂弥氏(平塚市剣道連盟)、石原康平氏(平塚柔道協会)、渡邊清一氏(平塚市陸上競技協会)、田中義平氏(平塚市体育協会会長)

(1面より続く)
を指導するとともに大会の進行に尽力。審査員も兼ねた行動力は皆に感謝されている。
平成二十六年常任理事となり、また、事務局次長として協会の運営に努力した功績も多大である。
◇末永 瑠璃子氏
(平塚市テニス協会)
平成六年、平塚市テニス協会理事に就任以来テニスの普及に努め、夏季の早朝に開催される平塚市民早朝テニス教室や講習会、平塚市民スポーツフェスティバル等において指導者として参加し、多くの平塚市民やジュニア選手を指導・育成している。また出場者が五百人を超

える平塚ジュニア選手権や、市主催の女性テニストーナメントのディレクターとして大会全体を統括、企画・運営の中心となり活動してきた。
現在は総務部長として事務局を担当、協会のIT化を進め、傘下の五十九団体及び、役員間の連絡において、電子メールによるネットワーク構築とその管理を担っている。
平成十年の「かながわ・ゆめ国体」においては、当市で開催された「テニス競技少年・少女の部」に向けて、ジュニア選手育成強化練習会で活躍するとともに、本国体では庶務委員として、神奈川県テニス協会及び行政との連絡を的確にとりながら競技運営を中心的立場で実施した。また、補助員、協力員達をまとめ運営に尽力した。
以上二十四年間にわたり平塚市及び神奈川県でのテニスの発展並びに社会体育活動に貢献している功績は誠に顕著である。

◇須賀 茂弥氏

(平塚市剣道連盟)

昭和三十九年、当時の平塚市剣道連盟に加入。昭和四十三年平塚市剣道連盟日産車体支部の創立に尽力。平塚市民総体剣道競技の団体戦優勝や神奈川県実業団剣道大会への出場など平塚市剣道連

◇田中 恭子氏

(平塚市弓道協会)

平塚市弓道協会主催の初心者弓道教室から弓道を始める。男子が上位を占める県百射会で八位入賞という快挙に加え、西湘地区大会で個人並びに団体戦でも優勝するなど多くの射会で活躍している。

◇露木 皓清氏

(平塚バスケットボール協会)

昭和三十六年度に平塚バスケットボール協会理事として協会運営に参画して以来、五十年以上にわたり本協会の中核を担ってきた。特に、昭和三十年代後半は、審判委員、競技委員として、平塚市域全体のバスケットボールの技術力向上に寄与した。
平成に入り、地域の小学生に

盟の一般会員の先頭に立って社会人剣道を実践、各種大会で活躍した。
昭和四十三年より平塚市剣道連盟日産車体支部の支部長として、四十年以上にわたり、各支部の青少年剣士の育成を図り、平塚市の剣道振興に努めた。
小・中学生の剣道錬成や一般社会人の剣道合同稽古や年二回の剣道大会を計画的に企画運営し平塚市剣道連盟のレベルアップに努めた。その効果は多岐にあり、平塚市剣道連盟会員の一段の合格率は高合格率を達成している。
三十年の長きにわたり、平塚市剣道連盟の小学生・中学生・高校生・一般の会員を直接自ら指導し剣道を通して少年少女の健全育成に多大な貢献をしている。自らの精進にも努められ、六十三歳で七段に合格。現在も稽古会、指導会に率先して参加され稽古を続けており、剣道現役として活躍されている。
以上、長年にわたり剣道競技の普及・発展に寄与した功績は誠に顕著である。

田中氏は昇段も早く、平塚市弓道協会主催の弓道教室から弓道を習い始めて最初の女性称号者であり、更に平塚市弓道協会初の女性教士に挑戦している。その過程はゆるぎない信念と不断の努力によるもので、弓道に対して真摯に取り組む姿は男女問わず協会会員のお手本になっている。
平塚市弓道協会会長の信頼は厚く、自身の活躍はもとより、理事に就任してから現在に至るまで会長の右腕として常に会の中心的役割を担い、積極的に協会行事を運営している協会の第一人者である。また、弓道教室講師を二十年以上務め、現在も的確な指導で初心者育てている。
以上、長年にわたり、弓道競技の普及・発展に多大な貢献をしており、その功績は誠に顕著である。

また、バスケットボールの普及育成に努め、見附台体育館や、ひらつかサン・ライフアリーナで、地域、学年を問わず、長年にわたり、バスケットボール教室を開いていた。
平成十九年度からは、平塚ミニバスケットボール連盟の顧問として、連盟の運営に参画している。
以上のとおり、バスケットボール競技の普及、発展に貢献した功績は誠に顕著である。
◇渡邊 清一氏
(平塚市陸上競技協会)
昭和五十一年、日本陸上競技連盟の公認審判員資格を取得。平塚市役所職員の高崎市や県の競技会の審判員として陸上競技の普及、選手の指導育成に尽力している。平成元年、平塚市陸上競技協会の理事に推薦され、財務部長、総務部副部長、監事、記録部長として平塚市陸上競技協会の各種大会等の円滑な運営に力を発揮している。また、平塚で開催される陸上競技大会では競技者係の主任として、市内一周駅伝では中継所審判員の主任としてその職責を全うしている。

(3面へ続く)